

入間市 特別養護老人ホーム 優先入所申込書 (その1)

書き方見本

※ この申込書は以下の特別養護老人ホームで優先入所申込みをすることが出来ます。

- ・ 入間老人ホーム 04-2963-4801
- ・ 聖愛園 04-2934-2431
- ・ 杏樹苑 04-2966-7171
- ・ 扇揚苑 04-2935-0123
- ・ 入間つつじの園 04-2934-6800
- ・ 杏樹苑爽風館 04-2966-7171
- ・ 鍵山苑 04-2963-8877

No.	2014
申込日	平成 26年 8月 1日
受付日	平成 26年 8月 1日

【申込者】

住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇1-2-3	
電話番号	△△-△△△△-△△△△	
携帯番号	□□□-□□□□-□□□□	
(ふりがな)	あんじゅ いちろう	本人との関係
氏名	杏樹 一郎	長男

支援センター名称	担当ケアマネジャー
〇〇〇居宅介護支援事業所	〇山 △子

※在宅サービスを御利用の方は記入してください。

施設長様
特別養護老人ホーム

入所したい方の情報をご記入ください

介護保険証のコピー添付をお願いします

本人の状況	(ふりがな)	あんじゅ たろう		性別	保険者	入間 (〇)・区・町・村)	
	氏名	杏樹 太郎		男	被保険者番号	111222	
	生年月日	明・天・昭 3年 4月 1日 (90歳)		女	要介護	(1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ ⑤)	
	住所	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇1-2-3		介護認定 期 間	平成 26年 1月 1日から		
	電話番号	△△-△△△△-△△△△			平成 26年 12月 31日まで		
	現在の生活場所	① 自宅 2. 施設・病院・その他 () ※ 年 月 日から					
	現在利用している在宅サービスの状況 (※2)	① 訪問介護 (ホームヘルプサービス)	()		6. 通所リハビリテーション (デイケア)	()	
		2. 訪問入浴介護	()		⑦ 短期入所生活介護 (ショートステイサービス)	()	
		3. 訪問看護	()		8. 短期入所療養介護	()	
		4. 訪問リハビリテーション	()		9. 福祉用具の貸与・購入費の支給	()	
⑤ 通所介護 (デイサービス)		()		10. その他	()		
直近2ヶ月の在宅サービス利用頻度 (※6)	A. 80%以上で	(a : 1年以上使用している b : 1年未満の使用)					
	B. 40%以上80%未満で	(a : 1年以上使用している b : 1年未満の使用)					
	C. 40%未満で	(a : 1年以上使用している b : 1年未満の使用)					
	D. まったく使用していない	()					
※介護老人保健施設・グループホーム等への入所、または長期入院の事実がご家族様や支援センター等から情報提供があった場合には、在宅サービスの利用を再開するまでこの項目の加点はつきませんので予め御了承ください							
認知症等による不適応行動	1. 非常に多い () やや多い () 3. 少しあり () 4. なし ()						
医療的処置の状況	【現在治療中の病気等】 過去に患った病気、怪我等もご記入ください 4年前に脳梗塞を発症。半身麻痺が残り再発予防のお薬を飲んでます。加えて高血圧と糖尿病があります。どちらも内服薬による治療のみで、月に一度〇〇〇〇病院を受診しています。						
優先入所を希望する理由に「〇」をつけてください。(※3)	1. 介護者がいないため ()						
	2. 介護者がいるが障害や疾病の状況にあり介護困難なため ()						
	3. 介護者がいるが高齢等のため十分な介護が困難なため ()						
	④ 介護者がいるが就業しているため十分な介護が困難なため ()						
	5. 介護者がいるが育児又は家族が病気の状況にあり十分な介護が困難なため ()						
	6. 介護保険施設に入所しているが替わりたい ()						
	7. その他 ()						

入間市 特別養護老人ホーム 優先入所申込書 (その2)

※必要事項を記入した後、該当事項に○印をつけ この項目は単身生活者の場合のみ記入してください。

介護者の状況	単身生活者の場合	1 : 介護者がいる		2 : 介護者がいない		
	主たる介護者 (a有 b:無)	(ふりがな)	介護参加無くても手続きに動け		性別	書き方見本 長男の妻
		氏名	杏樹 花子		男 <input checked="" type="radio"/>	
		生年月日	明・大・ <input checked="" type="radio"/> 30年 1月 30日 (58歳)		同居の区分	
		住所	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇1-2-3		<input checked="" type="radio"/> 同居 2. 別居	
	話番号	△△-△△△△-△△△△				
	従たる介護者 (a有 b:無)	就労状況	主たる介護者の 育児・家族の状況		主たる介護者の 複数介護状況	
		1. 8時間以上の就 2. 高齢で就労してい <input checked="" type="radio"/> 4時間以上8時間 4. 4時間未満の就労 5. 就労していない	1. 常時育児、看病が必要 2. 半日育児、看病が必要 3. 時々育児、看病が必要 4. 65歳以上の高齢者世帯 <input checked="" type="radio"/> 育児、看病なし ()		1. 複数介護のため、介護困難 2. 複数介護のため、多少介護可能 3. 複数介護だが介護可能 4. 複数 <input checked="" type="radio"/> 護なし ()	
		健康状態	氏名		主たる介護者の 健康状態	
		1. 良好 2. 不良のため介護困難 <input checked="" type="radio"/> 不良だが多少介護可能 4. 不良だが介護可能 ()	杏樹 一郎		男 <input checked="" type="radio"/> 女	
氏名	杏樹 一郎		長男			
生年月日	明・大・ <input checked="" type="radio"/> 28年 5月 1日 (61歳)		同居の区分 <input checked="" type="radio"/> 同居 2. 別居()			
介護の可能性	1. 介護困難 <input checked="" type="radio"/> 2. 多少介護可能 3. 介護可能					
介護期間	昭和・ <input checked="" type="radio"/> 成 17年 4月 から					
別居の血縁者 (a有 b:無)	介護の可能性 1. 介護困難 <input checked="" type="radio"/> 2. 多少介護可能 3. 介護可能					
その他	優先入所を希望する時期	<input checked="" type="radio"/> 今すぐに入所したい 2. 年 月頃までには入所したい				
	申込の状況	1. 市内の特別養護老人ホームへ申し込む(既に申し込んでいる施設にも○) ・入間老人ホーム ・聖愛園 ・杏樹苑 ・扇揚苑 ・入間つつじの園 ・杏樹苑楽風館 ・健山苑				
説明確認	待機期間	(昭和・ <input checked="" type="radio"/> 成) 年 月 頃 から				
	私は、優先入所申込の際、入所決定の手続き及び入所の必要性を評価する基準等について 優先入所の申込説明を受けた年月日と氏名をご記入下さい。	平成 26年 8月 1日 氏名: 杏樹 一郎				

- ※1 認定調査票(写)、介護保険被保険者証(写)、在宅サービス利用提供表(写)を添付し提出してください。
- ※2 現在利用している在宅サービスの状況の()内には、その具体的内容を記入してください。
- ※3 優先入所を希望する理由の()内には、その具体的理由を記入してください。
- ※4 必要性がなくなった場合は、別紙「特別養護老人ホーム優先入所申込取り下げ書」を提出してください。
- ※5 申込内容に変更が生じた場合は、施設に連絡し、指示を受けてください。
- ※6 直近2ヶ月の在宅サービス利用頻度で施設入所中の方、病院入院中の方は入所、入院前の利用状況を記入してください。

入間市 特別養護老人ホーム 優先入所申込書(その3)

項 目 内 容 説 明 書

書き方見本

(その1)

「直近2ヶ月の在宅サービス利用頻度」の定義

申込の段階で在宅のサービスを利用されている方が対象となります。医療機関に入院中・もしくは老人保健施設へ入所されている方は「まったく使用していない」に該当します。

頻度は該当する介護度の支給限度額のうち何%のサービスを利用しているか記入します。申し込みをされる月の前月と前々月の実績が対象となりますので、サービス利用票を持参してください。(例:3月にお申し込みをされる場合であれば、1月と2月の利用票をご持参ください)

申込み後、入所希望者の介護度が変更になった、もしくは在宅サービスの利用頻度が増えた場合等は、新しい介護保険証と新しい介護度になってからのサービス利用票を施設まで提出してください。

「認知症等における不適応行動」の段階を分類する為の指標

※下記項目のポイント(以下“P”と表記)の合計により、申込書(その1)の認知症による不適応行動1~4のいずれかに○印をつけてください。

徘徊(室内) 1P (屋外) 4P	暴力(身内のみ) 3P (第三者にも) 5P	大声・奇声(常時) 2P (一時) 1P	被害妄想 ③P
不潔行為 4P	申込書(その2)不適応行動の頻度を記入する為 に用います。該当する不適応行動に○をつけ、		昼夜逆転 ②P
感情失禁 2P	ひどい物忘れで同じことを何度も繰り返してしまう 2P		

16P以上 → 1. 非常に多い 6P~15P以下 → 2. やや多い
 1P~5P → 3. 少しあり 0P → 4. なし

合計: 5 P
【30P中】

(その2)

「主たる介護者」の定義

直接身体介護や身の回りのお手伝いを行っている方だけではなく、病院や老人保健施設の利用における連絡調整、緊急時の対応や契約の代理者等も含まれます。

「主たる介護者が育児又は家族が病気の状況にある」の定義

育児:未就学児童までの子・孫に限ります。

看病:現在治療中の疾病があり、介護保険のサービスを利用中でない方の看病に限ります。
 (見舞いは除きます)

「主たる介護者が複数の介護をしている」の定義

要介護認定を受けている方の対応をされている方が複数いる場合に限り。

「主たる介護者が障害や疾病の状況にある」の定義

健康不良のため介護困難:身体介護、連絡等の対応がともに出来ない方

健康不良だが多少介護可能:身体介護は出来ないが、連絡等の対応は可能な方

健康不良だが介護可能:身体介護が可能で、連絡等の対応も可能な方

「従たる介護者」の定義

主たる介護者以外の介護者を指します。入所希望者と同居しているかどうかを記入してください。

「別居の血縁者」の定義

基本的に入所希望者から見て三親等以内の血族となりますが、特別な事情がある場合には親族を含みます。

※上記内容にて不足・不明な内容があれば各施設までご連絡ください。

入間市 特別養護老人ホーム 優先入所申込書 (その4)

書き方見本

平成27年4月より要介護1または要介護2の方が申し込みをされ、特別入所の要件に該当する方が対象となります。申込者が特別入所対象者に該当するかどうかの判断をするにあたり、該当すると思われる要件をより具体的に記載して頂く必要があります。

つきましては、平成27年より特別養護老人ホームは原則介護度3以上の方がたいしょうとなりましたが、**介護度1、2でも市町村の意見を伺った上で「特別入所の要件」に該当すると認められた場合には当施設の優先入所の、申込をすることができます。**

特別入所の要件	<input type="checkbox"/>	認知症で日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難が見られること
	<input type="checkbox"/>	身体的障害・精神障害を伴い、日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難等が頻繁に見られる事
	<input type="checkbox"/>	家族等による深刻な虐待等が疑われること等により、心身の安全・安心の確保が困難であること
	<input checked="" type="checkbox"/>	単身世帯である、同居家族が高齢又は病弱である等により家族等による支援が期待できず、かつ、地域での介護サービスや生活支援の供給が不十分な状況であること

介護度1、2の方は、該当すると思われる特別入所の要件にチェックを入れ、その具体的内容を記載して下さい。

【具体的内容を記載してください】

爽風館太郎様は、妻である爽風花子が平成27年に亡くなった後、独居生活をしており、子はおらず、兄弟は全て死別しています。平成28年に肺気腫を患い在宅酸素の適用となりましたが平成29年より薬の飲み忘れや火のかけっぱなし等があり、要介護1の認定を受けました。同時に、成年後見人の申し立てを行い、私が成年後見人として本人の身上監護と財産管理を行っています。

自宅での生活に不便があり、サービス付高齢者住宅に入居していましたが、経済的に本人の財産が枯渇してしまい、市内の有料老人ホーム、および介護老人保健施設には入所がままならない状況となりました。

上記理由により、特別養護老人ホームの特別入所を検討していただけないでしょうか。

説明確認	私は、優先入所申込みの際、入所決定の手続き及び入所の必要性を評価する基準と、特別入所の要件等について施設から説明を受けました。 平成 30 年 4 月 1 日 氏名： 成年 後見太郎
------	--

施設記入欄

特別入所の要件と優先入所評価基準の説明を確認したら、説明を聞いた方の氏名をご記入ください。
介護度3以上の方は、特別入所に関する項目は空欄で構いません。